

病を加えた特約保険。死亡や高度障害時に適用されていた保障範囲が拡大されたので、40歳以上の人が長期ローンを組んでも安心ということになり、銀行にとっても、住宅ローンの利用者数増加が見込めて「双方お得」というわけである。

しかし、保険料はローン金利に0.3%程度上乗せされるのが一般的で、利用者負担は増す。それに終身医療保険との年間保険料と比較すれば割高のケースも出てくるし、3大疾病だから保障範囲は限

る。その特効薬が「疾病保障特約」で、誰に効くかといえは、保険金でローンの残債を埋めてくれる銀行なのである。

(ジャーナリスト 河村晋平)



Forbes
フォーブスレポート
Report

と「企業再生特化型」投資で ひの21LADY 広野道子社長

「女性パート出身社長誕生」として話題となった、ブックオフの橋本真由美社長。まさに、女性の感性が経営で大事になってきた現れでもあるが、こうした女性、特にアルバイトやパートなど、現場の実情に精通したスタッフを最大限活用しているのが、21LADYだ。

同社はシュークリームで有名な「洋菓子のヒロタ」を民



21LADY広野道子社長。

事再生法申請後に買収、3年で再生させたことで知られる。女性スタッフを再生の鍵にしたことで早期の浮上を果たした。21LADYという会社はいわば持ち株会社で、傘下には現在、「洋菓子のヒロタ」のほか「リテイールネット(シューフィア

長期保有の原則

同社が異色なのは、M&A

(ジャーナリスト 諸星 徹)

野心的な構想を公約している。同社では「衣・食・住・職・遊・学」の6分野、ライフスタイル産業に焦点を当てた展開を標榜する。

ライフスタイル産業の範囲でなら、女性の視点と意見、女性重視の人事をしたところが商戦で勝るといって、広野氏の信念があることも特徴だ。

クトリー)」、元ダイエーグループだった英国風パブの「ハブ」「ライフスタイル・アセット・マネジメント」、7月に子会社化した「インキュベーション」の5社を持つ。21LADYは04年10月に名証セントレックスに株式公開、創業社長の広野道子氏は「向こう5年以内に7ブランド増やして10ブランド、年商で1000億円レベルにしたい」と、野心的な構想を公約している。

を基本に据え、ブランド再生や投資育成にフォーカスしている点だ。

経営が厳しい企業に投資となると、外資系ファンドのようになく買いたたいて高く売るといのが定石だが、同社では「得るのはあくまでインカムゲインでキャピタルゲインではない」として、買った企業は半永久的に長期保有していくことを基本方針としている。

国際 上海で軌道に乗り始めた 日本式宅配便

上海で日本式の宅配便を... 〃。こう意気込むのは住友商事の田崎達郎物流企画営業第二部長だ。住商と佐川急便がそれぞれ37.5%出資、それに上海市の貨物タクシー許可証を持つ最大手運送業者である大衆交通集団との合併事業

が軌道に乗り出し、話題となっているものだ。

「佐川急便の見学会に同行した際に、大衆側が『これはおもしろいシステムだ。(上海でも)いけるのではないかと判断した』ということだ。3年前に立ち上げた。だが自